

平成16年9月10日

各 位

岡山地区化学工学懇話会

会長 小川 明

第6回「未来を担う！産学官技術者・研究者交流会」のご案内

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、岡山地区化学工学懇話会では下記の要領で第6回産学官技術者・研究者交流会を開催します。

この交流会は、産学官の若手から中堅技術者・研究者の分野を越えた交流を通じて、参加者各人の成長と、所属企業・団体の業務発展に必要な考え方と意欲を、受け身ではなく、参加者自らがグループ討論等の中で能動的につくり出すことを主旨とするものです。

第1回開催以来大変好評であり、今年度は前5回の実績を踏まえてさらに充実した内容の交流会を目指して企画いたしました。意欲ある方々多数にご参加いただきますようご案内申し上げます。

記

1. 日 時： 平成16年11月5日(金) 10:00から (受付9:30～)
11月6日(土) 11:30頃まで(一泊二日)
2. 会 場： 岡山県青年館(岡山市津島東1丁目4-1、TEL 086-254-7722)
<http://www.seinenkan.com/> 交通アクセス等ご覧下さい。
3. 対象者： 化学工学分野に限らず研究・開発・生産に携わる産学官の若手から中堅の技術者、研究者。
当懇話会会員以外の方も参加歓迎。
**特に年齢制限はありません。昨年度は、26歳～45歳の方が参加！
全ての分野の将来への意欲ある方であればどなたでも結構です。**
4. 内 容： 小グループでの討議をメインとした一泊二日の交流会。1日目には懇親会を行い、より交流を深めます。詳細は、添付の実施要領をご参照下さい。
5. 定 員： 25名程度。
(注) 1企業・団体からの複数名参加可。(申込み多数の場合は、先着順を原則)
6. 参加費： 会員5,000円、会員以外は10,000円。(当日、受付時にお支払い下さい)
7. 申込み： **必ずEメール**で、**10月8日(金)**までに、企業・団体名、参加者氏名、連絡先(勤務先住所、TEL、FAX、Eメール)を明記して事務局に申し込んで下さい。
申込み後1週間以上返信メールがない場合は、事務局に電話でご確認下さい。
参加者には、事前アンケートを送ります。Gr討議の希望テーマを含め所定の事項を記入の上、事務局に返送して下さい。(全てEメールでやりとりします)
8. 事務局： 財団法人岡山県産業振興財団(担当：間宮)
Eメール：mtsugeno@optic.or.jp
〒701-1221 岡山市芳賀5301 TEL：086-286-9651、FAX：086-286-9676
岡山地区化学工学懇話会URL：<http://www.optic.or.jp/kakou-konwakai/>

岡山地区化学工学懇話会
第6回「未来を担う！産学官技術者・研究者交流会」実施要領

1. 日時：平成16年11月5日(金)10:00～6日(土)11:30頃
2. 会場：岡山県青年館(岡山市津島東1丁目4-1、TEL 086-254-7722)
(交通アクセス) <http://www.seinenkan.com/koutuu.htm>

3. スケジュール

【1日目】

- 10:00～10:15 オリエンテーション 会長挨拶、趣旨説明、等
10:15～12:30 **PRタイム** 参加者の会社紹介、製品紹介(パンフレット・資料等持参)
全体的紹介でなく、誇れる技術・製品の紹介や実演および
自己紹介をメインとします。(1社当たり5分程度)
12:30～13:15 昼食
13:15～15:45 **グループ討議** パソコン1台/Gr準備します。
Word,Excel,PowerPointで資料作成。
15:45～16:00 休憩
16:00～18:30 **グループ討議** 別グループに参加しての発言可
18:30～18:45 名刺交換会
18:45～19:45 **懇親会** (主に飲食に専念)
19:45～21:00 **フリー討論会** (飲食は続行可)
21:00～ 部屋を変えてのフリー討論会(体力の続く限り!!)
適宜入浴、就寝 (-_-)zzz

【2日目】

- 7:30～8:30 朝食
9:00～9:10 グループ討議結果発表手順の説明
9:10～11:20 **全体会議** (25分/Grのディベート形式のGr報告&討論。
討議内容報告は、資料1～3枚で、プロジェクター使用)
11:20～11:30 アンケート記入後、適宜解散。

4. Gr討議テーマおよびGr編成

- ・事前調査票で提出いただく希望Gr討議テーマを元に、主催側でGr編成(1Gr5～6名程度)を行ないます。
- ・Gr討議テーマ案は、事前に参加者にご連絡します。
(昨年度テーマ例)

技術大国ニッポンの(復活・再生・構築)に向けて
新製品開発に必要な(経営者・開発者・営業マン・人材)とは
コストダウン競争に(生き残る・負けない・打ち勝つ)ため
環境に配慮した(物づくり・プロセス・研究開発)

5. その他

- ・会社紹介・製品紹介では、ビデオ, OHP, PCプロジェクタ等の機器が使用できます。必要とする場合は事前に申し出て下さい。また説明資料、実物等も配布可能です。
- ・本交流会は、受け身ではなく能動的参加を重視しますので、グループ討議や全体会議では積極的に発言し、参加者間の交流を深めてください。
- ・全体的な運営についても積極的な意見・提案を期待しています。
- ・テーマ決定とグループ編成のために、業務内容・Gr討議テーマ案・誇れる技術・製品・最近の関心事などを記入する事前調査票を提出いただきます。なお、これは全員にコピー配布します。
- ・服装は、スーツ+ネクタイ等を避け、カジュアルで楽な服装が望ましい。

以上

